

# 11月の星空



11月下旬の午後8時頃の星空です。月や木星は11月21日の位置を表示しています。実際の空を見ながら星を探すときは見る方角を下にして見ます。

秋から冬へ、少しずつ季節が動き始めました。

夏の星座達ですが、日暮れが早くなったこともあり、まだ西の空に見つけることができます。

真上に目を向けると、神話に彩られた秋の星座の競演ですが、実は秋の星座には明るい1等星がほとんどありません。それでも、秋の空気が澄んでいるためか、星座の形が良くわかります。

また、東の空には、太陽系最大の惑星「木星」が堂々とした姿を現してきました。

しっかりと寒さ対策をして、宇宙の奥深さを感じられる夜空を楽しみたいですね。



### ★今夜は月齢7.2

今夜の月は月齢7.2でほぼ半月に見えます。

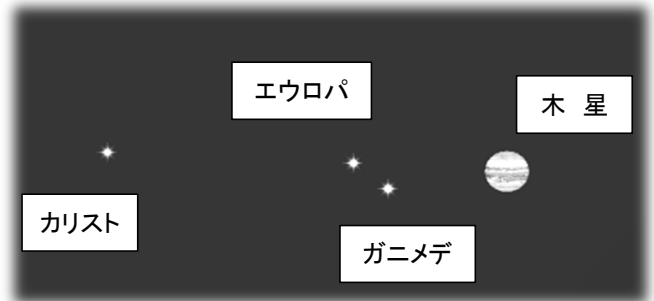
地球から見ると、太陽と月が約90度の位置関係にあり、真横から照らす太陽の光で、クレーターが作り出す影で立体的な月の姿を楽しむことができます。また、意外に知られていませんが、低倍率の双眼鏡でも美しい姿を楽しめます。

### ★木星

この冬は、太陽系最大の惑星である木星が見頃です。東の空でひときわ輝くので、その存在はすぐに分かります。小型の天体望遠鏡でも表面の模様や4大衛星(ガリレオ衛星)を楽しめます。

※21日は4大衛星のうち、3つが観られます。

※月も木星も、実際に天体望遠鏡で見ると、上下左右がさかさまに見えます。

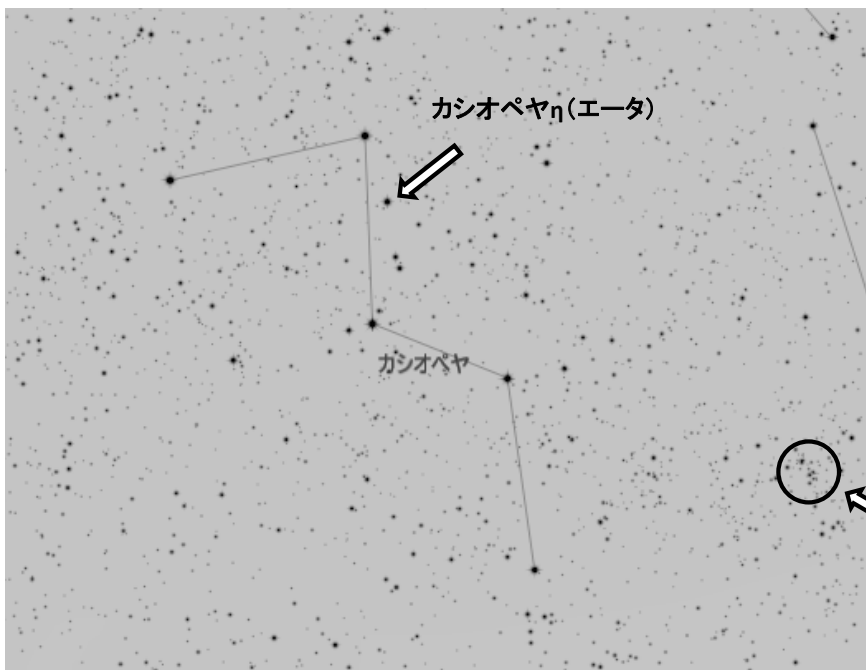


### カシオペヤ座

アルファベットのMが広がったような形に見える星座です。1等星はありませんが、こじんまりとして、空の明るい市街地でも比較的簡単に見つけることができます。

$\eta$ (エータ)星は、3.5等と7.5等が並んでいる二重星で、二つの星の色の違いが楽しめます。

また、近くにあるペルセウス座二重散開星団は、双眼鏡でも星の集団が並んでいるのが分かり、天体望遠鏡で観ると視野いっぱい星がきらめいて、思わず見とれてしまいます。



ペルセウス座二重散開星団( $h\chi$ : エイチ・カイ)を天体望遠鏡で観た姿です。

### 次回の天文教室は

日時 12月19日(水) 19時から20時(受付18時30分から)

観察対象 月、木星、おうし座の散開星団M45(プレアデス(和名:すばる)など  
この次もお待ちしています。☺

